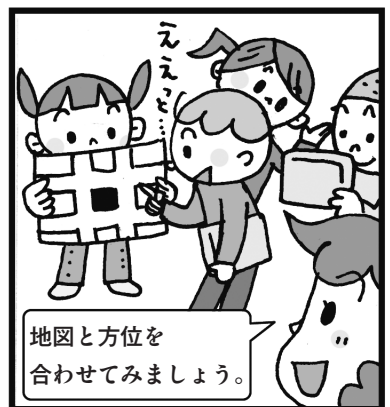
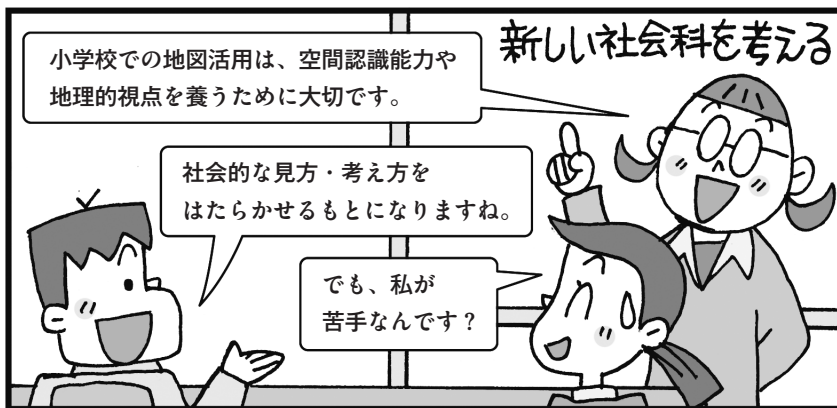




4年生「日本の47都道府県を旅してみよう」

都道府県で自分に関わりのあるところや旅行などに行って知っているところを白地図に書きましょう。

栃木県の日光には6年生が移動教室に行くね。

長崎県にはおじさんが住んでいます。

で、みん
な、は
なは

近所のスーパーマーケットでは北海道産のお米が人気でした。

私は東京都に住んでいます。

白地図に書いたことを付箋に書き写して日本地図に貼りましょう。

地図帳に情報がたくさんあるね。

みんなで分担して各県の情報を増やしてもっと貼っていきましょう。

調べたことからクイズを出してもいいですか？問題です。ここは？

ゆうとさんのおじさんが住んでいるカステラが有名な長崎県です。

大正解！！

研修場面にて…

地図上で「どこに、何があるか」を捉え、地域の広がりを理解することで、客観的な位置関係を把握する能力が育まれます。

紙の地図帳だけでなく、Google EarthやストリートビューなどのICTツールを併用することで、地形の様子がよくわかります。

クイズ形式だと楽しい導入から調べ学習に意欲が湧きますね。

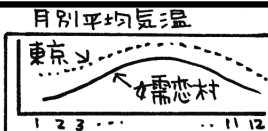
5年生「高い土地のくらしー孺恋村ー」



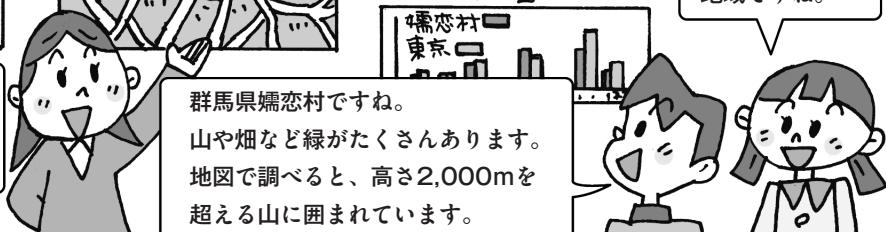
この写真と地図から
気づくことを
話し合ひましょう。



群馬県孺恋村ですね。
山や畑など緑がたくさんあります。
地図で調べると、高さ2,000mを
超える山に囲まれています。



土地が高いから
東京と比べると
平均気温は低い
地域ですね。



温泉の記号があるので
観光地でしょうか。



スキー場もあるので観光業が
盛んだと考えられます。

私たちの地域とは
違う産業やくらしかな。



よく読み取れていますね。
次の写真です。

なぜ、こんなにたくさんの
キャベツ畑があるのでしょうか。



地図で見た平地の畑の
ほとんどはキャベツ畑ですね。



きっと写真のように働いている
人の工夫があると思うよ。



では、その理由について
調べていきましょう。

研修場面にて…

身近な地域の地理的特性、産業、歴史的な
変化を地図を通して学ぶことで、
地域社会への関心が高まります。

地図帳を自在に使いこなせれば
調べやすくなりますね。



そのためにも、各学年のはじめに
「索引の見方」や情報を読み取る
技術は、繰り返し指導して
いきたいですね。



『社会科のABC』を
参考にしてください。

6年生「日本国憲法と政治のしくみ」

地図で周りの省庁や
国際機関も探しましょう。

Google Earthなら
現在位置が
わかり
やすいね。

内閣の各省庁や
各政党の建物も
あるね。

国会の近くには
最高裁判所や
国会図書館もあるね。

6年生「江戸の社会と文化・学問」

古地図と現代地図を
比べてみると、学校の
近くまで海だったことが
わかるね。

深川は、大名と町人が近くに
住んでいたんだね。

運河がたくさんあった
から、商業が発展して
いたと考えられるね。

人びとはどのような暮らしを
していたのだろう？

6年生「日本とつながりの深い国々」

私はブラジル連邦共和国について調べました。
地球儀で見ると、地球の裏側の国です。
これは、調べたことを入力して、
AIで作ったイラスト地図です。

アマゾンの熱帯雨林や人びとの暮らし、
産業までよくまとめられているね。

人々の
くらし
熱帯
雨林

パチ
パチ

研修場面にて…

世界地図や日本地図を常に児童の
目に入る位置に貼り、日常的に
環境を整えるといいですね。

国語科のマイ辞書のように、
マイ地図帳を指導します。

卒業時には児童が当たり前のように
地図を活用できるようにしたいですね。

その前に、
私が苦手で……

まだ
ですわね。

ええっ